

鴻巣行田北本環境資源組合 だより

TEL. 048(501)6708 FAX. 048(501)6209
MAIL. kgk-sigen-br@k-ichikumi.jp (計画建設課宛)

■構成市
鴻巣市/行田市/北本市
■編集・発行
鴻巣行田北本環境資源組合
鴻巣市関新田 1300-1

① ご挨拶



管理者 工藤正司行田市長

鴻巣行田北本環境資源組合は平成26年4月に、行田市・鴻巣市・北本市で、ごみ処理の広域化に係る計画の策定及び調整並びに当該計画に基づく一般廃棄物処理施設（し尿処理施設を除く。）の建設等の事務を推進するため、新施設建設等検討委員会を立ち上げるなどの事務を開始しました。

本年2月17日には答申を受け、新たなごみ処理施設の建設候補地を鴻巣市郷地・安養寺地区内に選定いたしました。建設候補地の選定にあたりましては、①必要とされる面積の確保 ②現況の土地利用及び将来の開発 ③利便性 ④環境への影響 ⑤法的制約 ⑥経済性の6つの基本的条件により選定いたしました。

組合では、候補地を選定しましたことから、4月4日に郷地・安養寺地区にお住まいの方並びに地権者の方を対象に、また5月23日に鴻巣市、行田市及び北

本市の市民の方を対象とした説明会を開催し、皆様から貴重なご意見、ご要望を賜りました。

新たなごみ処理施設を建設するには、地元の皆様方のご理解とご協力が不可欠でございます。組合では、事業を進める上で、皆さまのご意見、ご要望をお聞きしながら事業を進めてまいりたいと考えております。そこで、地元の皆様への情報発信の取り組みとして、このたび、「鴻巣行田北本環境資源組合だより」を発行いたしました。

今後も、環境問題に配慮しつつ、循環型社会の構築に貢献するごみ処理施設の建設を目指し、事務の推進に全力で努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

② 地元組織立ち上げのお知らせ

今までの説明会などにおきまして、「地元から役員を出して、意見を聞いてほしい」などのご意見をいただきました。事業を進める上では、地元の皆様のご理解とご協力が不可欠であることから、郷地・安養寺地区の10自治会ごとに選任された方や土木委員、笠原土地改良区役員、元荒川上流土地改良区役員、農業委員、新施設建設等検討委員会の地元の選出委員、計33名の方で構成された地元組織を立ち上げました。

③ 第1回地元懇談会の開催

地元の皆様のご意見、ご要望について協議・検討をすることを目的として、8月29日（土）に笠原公民館にて第1回地元懇談会を開催いたしました。今回は、（1）周辺環境整備について（2）自主基準値についてを議題として、話し合いが行われました。今回の懇談会でいただいたご意見・ご要望などは、次のページのとおりです。本組合では、皆様からいただいたご意見、ご要望につきまして、今後関係機関などと協議、検討を行ってまいります。

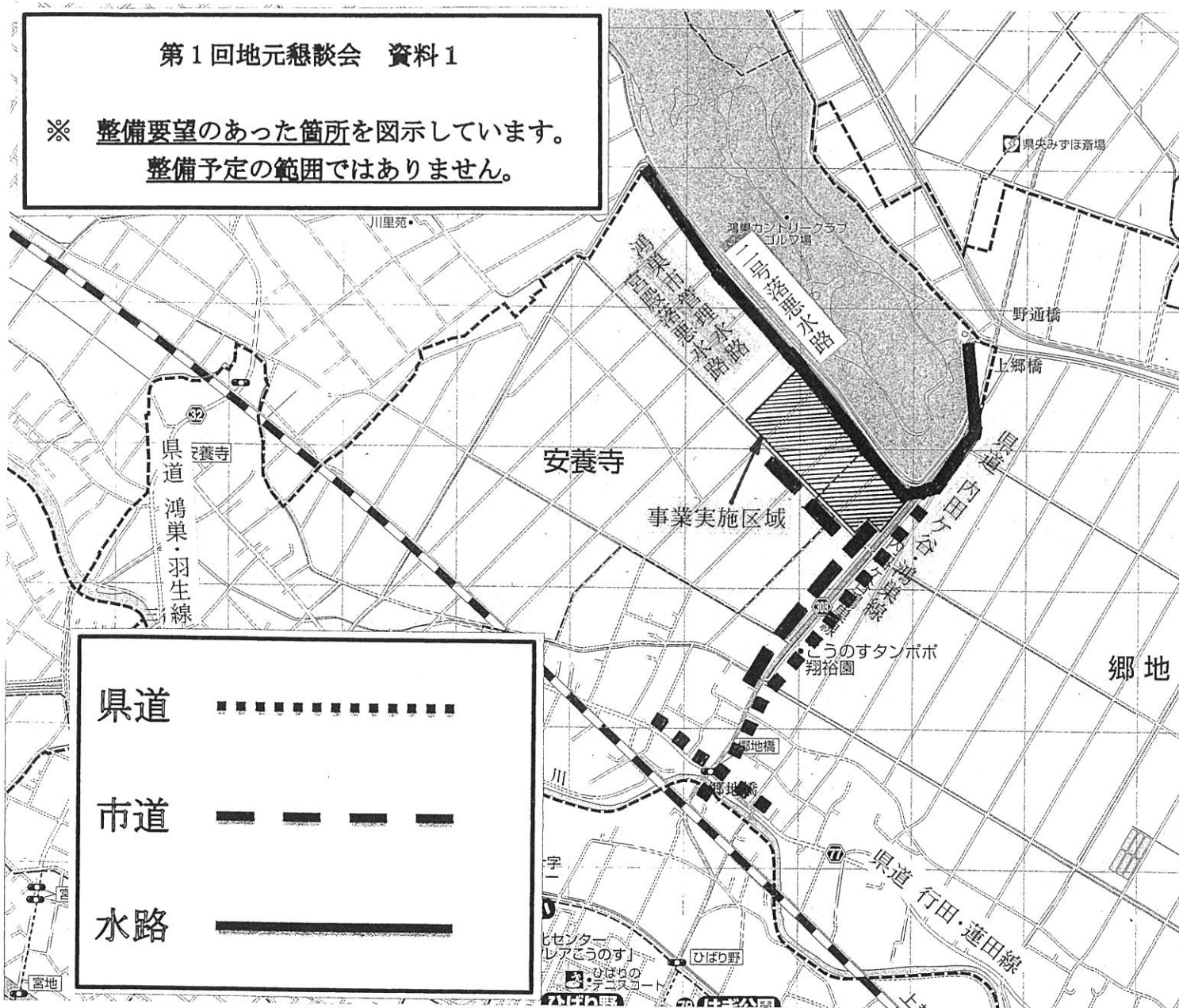


👉 第1回地元懇談会の様子

次回の地元懇談会は11月中の開催を予定しております。

第1回地元懇談会 資料1

※ 整備要望のあった箇所を図示しています。
整備予定の範囲ではありません。



第1回懇談会では以下のようなご意見・ご要望が出されました

周辺環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鴻巣カントリーエレベーターとごみ処理施設の入口が、重ならないようにしてほしい。 ○ 土日の稼働や車両の交通をどう想定しているか。 ○ 交通量が増加することによる事故防止策は。 ○ 県道の歩道整備をお願いしたい。 ○ 廃棄物運搬車両の搬入ルートはどう想定しているのか。 ○ 廃棄物運搬車両が郷地橋に集中することが予想されるので、県道の改良事業を埼玉県に要望してほしい。 ○ 廃棄物運搬車両の分散のために、県道鴻巣・羽生線からの搬入ルートを検討してほしい。 ○ 周辺環境整備をしてほしい。 ○ 信号の改良、農耕車専用道路を造ってほしい。 ○ 道路、排水路の整備をしてほしい。 ○ 鴻巣カントリーエレベーター脇の市道を県道鴻巣・羽生線まで整備してほしい。 ○ 県道内田ヶ谷・鴻巣線を農耕車が安全に横断出来るようにしてほしい。 ○ 調整池はどれくらいを想定しているか。建替えの面積を確保しているか。 ○ 土地改良区として、要望書を提出したい。
現在の自主基準値について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 半径2 kmの基準値は。ごみ処理施設建設によって環境がどう変わるのか。 ○ 搬入するゴミの放射能濃度を確認してほしい。 ○ 夜間照明が稲へ与える影響は。 ○ ごみ処理方式のメリット、デメリットを教えてください。 ○ 臭気について観察を。 ○ 産業廃棄物をどうするのか。稼働体制をどうとるのか。 ○ 放射能に汚染されたゴミの受け入れは拒否してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余熱利用施設（温水プールや日帰り温泉など）を検討してほしい。

第1回地元懇談会 資料2（一部抜粋）

ごみ処理施設（熱回収施設）における法規制値・自主基準値等一覧表（一部）

		法規制値		自主基準値
		規制値条件	規制値	さいたま市桜環境センター 380 t/日 H27.4 シャフト炉式ガス化溶融方式
排ガス	ばいじん	4t/h・炉以上 (2炉体制)	0.04 g/m ³ N	0.01 g/m ³ N
	SOx (硫黄酸化物)	煙突高59mと設定	2300 ppm	20 ppm
	NOx (窒素酸化物)	指導基準 法令250ppm	180 ppm	50 ppm
	HCl (塩化水素)	上乘せ基準 法令430ppm	120 ppm	30 ppm
	Hg (水銀)		- mg/m ³ N	- mg/m ³ N
	DXNs (ダイキソシソ類)	4t/h・炉以上	0.1 ng-TEQ/m ³ N	0.01 ng-TEQ/m ³ N
	CO 1時間平均 (一酸化炭素)		100 ppm	100 ppm

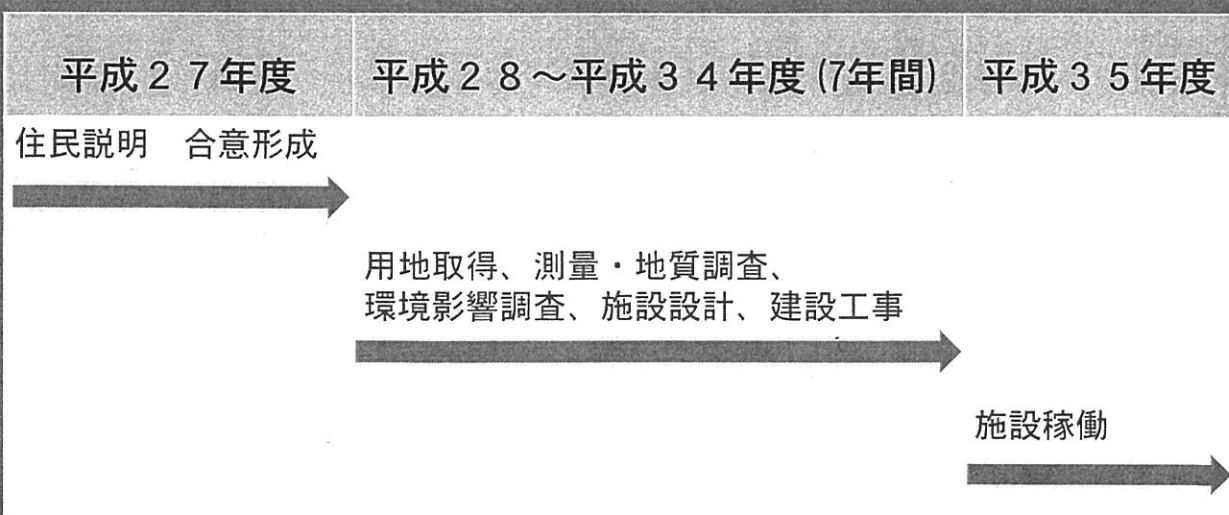
新たなごみ処理施設の自主基準値につきましても、埼玉県内の最新施設である、さいたま市桜環境センターを参考に検討してまいります。

※ 騒音・振動・排水は法規制値を自主基準値とします。

過去の建設候補地に関する説明会では以下のようなご意見、ご要望をいただいております(概要)

<p>H27.1.29 会場: 笠原公民館</p>	<p>地元公職者の方を対象にした説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路・水路の整備を考えてほしい。 ○ 交通量が増加するのではないか。 ○ 余熱利用施設（日帰り温泉など）を整備してほしい。 ○ 郷地・安養寺地区に対するイメージを考えてほしい。 ○ 建設候補地が郷地・安養寺地区に決まった理由は。
<p>H27.4.4 会場: 笠原公民館</p>	<p>郷地・安養寺地区にお住まいの方並びに地権者の方を対象にした説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ量、騒音、臭気及び交通量などの情報提供が必要である。 ○ 自主基準値を設けてほしい。 ○ 余熱利用施設の整備予定はあるのか。 ○ 周辺の道路・水路整備をどこまで考えているのか。 ○ 地区から役員を選出して、地元の要望を聞く場を作ってほしい。
<p>H27.5.23 会場: クリアこうのす</p>	<p>鴻巣市、行田市及び北本市の市民の方を対象にした説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建設までのスケジュールが遅い。 ○ 健康や農作物への影響はあるのか。 ○ 余熱利用施設（温水プールなど）はあるのか。 ○ ダイオキシンなどで健康や農作物への影響は。 ○ 建設候補地の面積5.5haの根拠は。 ○ 説明会で出された意見や質疑、事業の進捗を知らせてほしい。 ○ 建設候補地を鴻巣市内とした理由は何か。 ○ 洪水に脆弱な区域をなぜ建設候補地としたのか。 ○ 建設候補地ありきではないか、国に候補地選定の基準はあるか。 ○ 委託業者はどのように決定したか。

全体スケジュール



※ 今までの説明会の資料などは組合ホームページで公開しています。
<http://www.k-ichikumi.jp> (鴻巣行田北本環境資源組合)